

日産 セドリック タクシー
LPG フューエルタンク
取り外し、取り付け作業要領書

目次

はじめに	3
対象車種	3
取り扱い・作業上の注意	4
準備品	4
燃料流出防止作業	5
構成図	18
取り外し、取り付け	19
燃料漏れ点検作業手順	20

はじめに

セドリック タクシー LPG フューエルタンク点検（※）が2016年8月より始まります。

（※）：LPG フューエルタンクの容器再検査は6年毎

点検に伴う、LPG タンク脱着方法及び、燃料流出防止作業についてご案内致します。

対象車種

セドリック タクシー(2010年9月～発売)のEGI仕様(エンジンNP20PE)搭載車

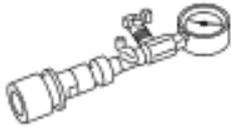
取り扱い・作業上の注意

- ・作業前には必ず該当車両の整備要領書を確認し整備を行ってください。
- ・作業を行う場合、必ず燃料流出防止作業後バッテリーマイナスターミナルを切り離してから行ってください。
- ・フューエルシステムの作業は火気のそばでは絶対に実施しないでください。(作業中の喫煙はしないこと)
- ・燃料流出防止作業は窒素ガスを 1.0MPa 以上で充てん作業を行うため高圧ガスの製造事業(第2種)に該当し、都道府県庁等への届出が必要となります。

準備品

#FICD:000000006417362

日産推奨機器

名称	用途
チッソガス注入装置  JPSA467GZ	燃料配管内LPGをLPGボンベASSYへ押し戻す際に使用するキット
ポート1ASSY  JPSA464GZ	車両への接続用
タンク用ASSY  JPSA464GZ	タンク内の圧力測定用
チッソ調整器  JPSA464GZ	窒素ボンベからの圧力調整用

汎用品

窒素ボンベ

燃料流出防止作業

MFCD.000.000006550395

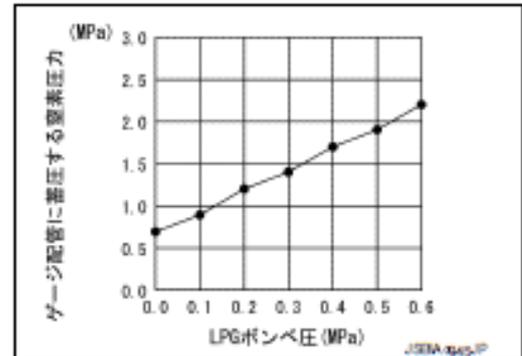
作業概要

液体LPG 燃料が燃料配管内に入り、フューエルホース等の燃料配管を切り離す際に液体LPG 燃料を大気開放させないため、燃料配管内のLPG 燃料を窒素ガスの圧力でLPG ボンベ ASSY に押し戻す必要がある。

以下に作業手順の概要を記載する。

燃料配管への加圧

- ・ 窒素ガスをLPG ボンベASSY 内に流入させないために必要最小限の窒素ガスで加圧する必要がある。
- ・ タンク用ASSY [日産推奨機器] を使用してLPG ボンベ ASSY 内の圧力を測定後、チツソ調整器 [日産推奨機器] にて窒素ガスの圧力を調整する。
- ・ 圧力を調整することによりLPG 燃料はLPG ボンベASSY 内に押し戻され、配管内は窒素ガスのみになる。



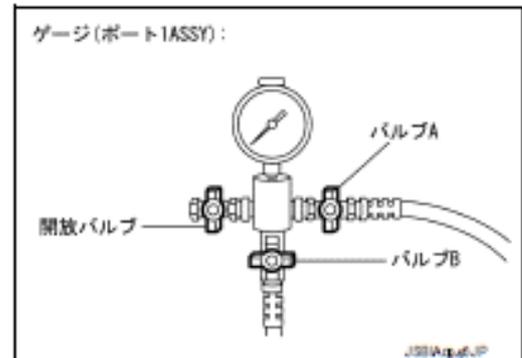
作業上の留意点

- ・ タンク用ASSY [日産推奨機器] を使用してLPG ボンベASSY 内の圧力を測定後、窒素ガスの圧力を調整する。

参考: 膨張した窒素ガスとLPG 燃料の境界点を取り出しバルブ (リターン) でつり合うようにするため。

- ・ ポート1ASSY [[日産推奨機器] に窒素ガスを加圧後、バルブB を閉じる。

参考: 調整した圧力を保持し、窒素ボンベ内の窒素ガスがLPG ボンベ ASSY 内に流入することを防止するため。



- ・ 脱着する部品により燃料流出防止作業を行う配管を分ける。

参考: LPG ボンベASSY 内に窒素ガスが流入する機会を減らすため。

部品名	燃料流出防止作業部位	
	リターン側	フィード側
エンジン ASSY	○	—
シリンダヘッド	○	—
インテークマニホールド	○	—
フューエルチューブ ASSY	○	—
ギャラリ燃圧センサ	○	—
ギャラリ燃温センサ	○	—
フューエルバルセーションダンパ	○	—
フューエルプレッシャレギュレータ	○	—

部品名	燃料流出防止作業部位	
	リターン側	フィード側
デリバリ遮断弁	○*	○
残圧保持弁	○	—
LPG ボンベASSY	○*	○

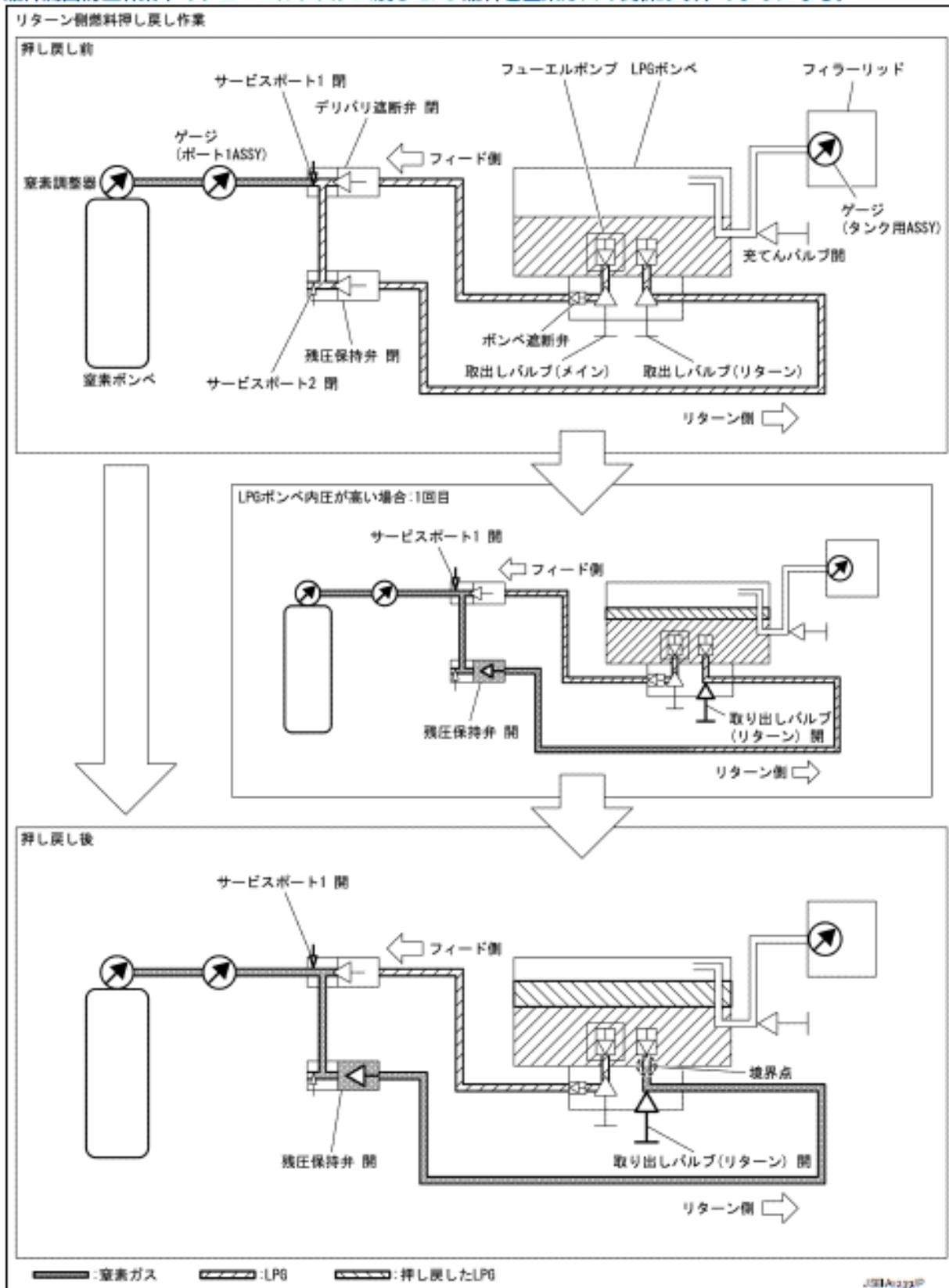
*：リターン側燃料押し戻し作業の手順が、フィード側燃料押し戻し作業の一連の作業手順として記載されているため、フィード側燃料押し戻し作業の手順を参照する。

- LPG ボンベASSY の安全弁噴き出し圧力以上（2.6MPa 以上）は加圧しない。

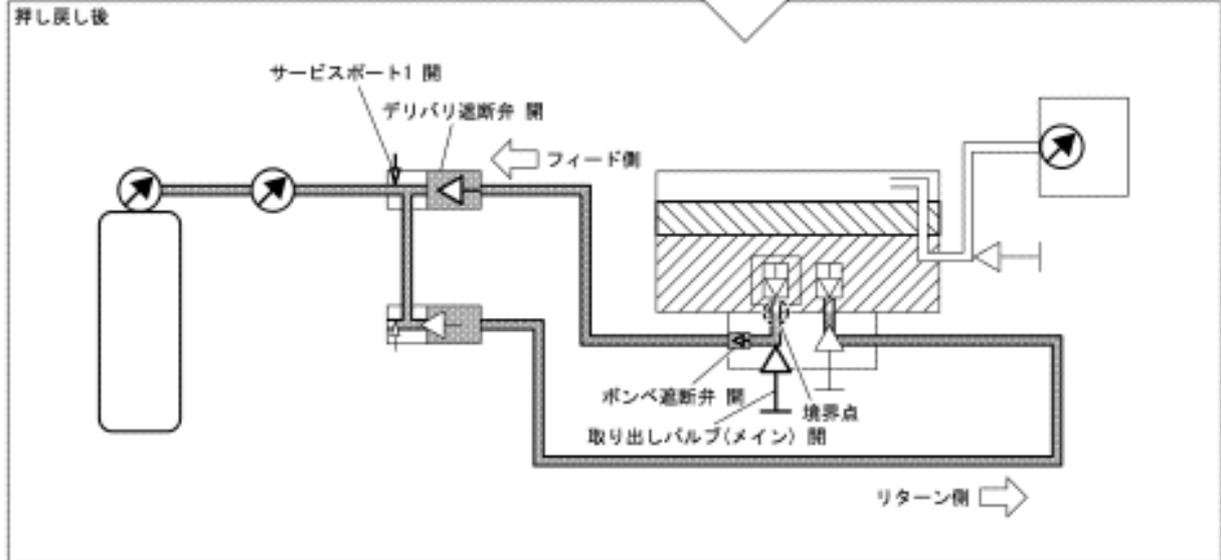
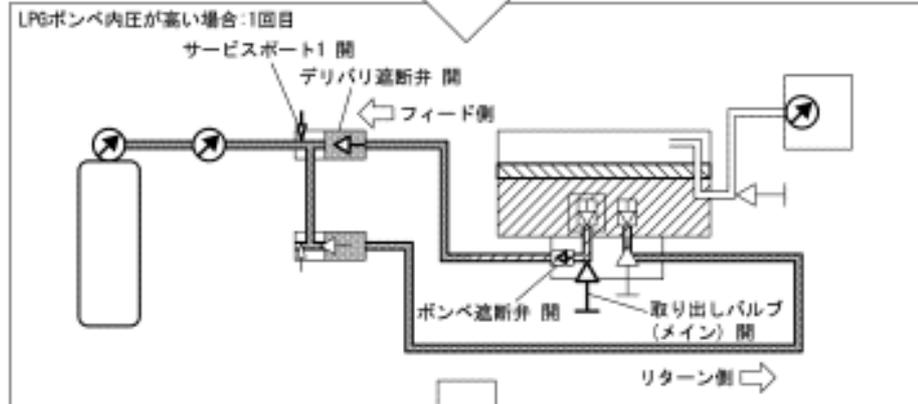
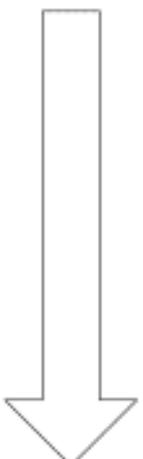
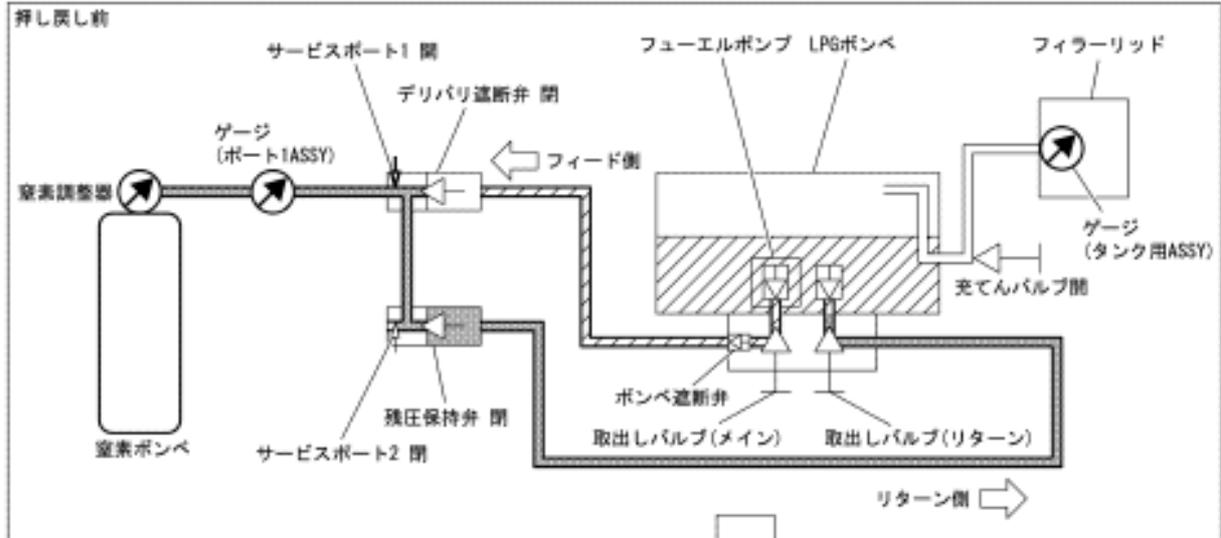
注意： LPG ボンベ圧力が高い場合は、必ず2回に分けて行う。また、2回を限度とする。

- 作業時の LPG ボンベ ASSY 内の温度は 40℃ 以下であること。

- 燃料流出防止作業中のフューエルシステム及びLPG燃料と窒素ガスの関係は以下になる。



フィード側燃料押し戻し作業(リターン側燃料押し戻し作業後)



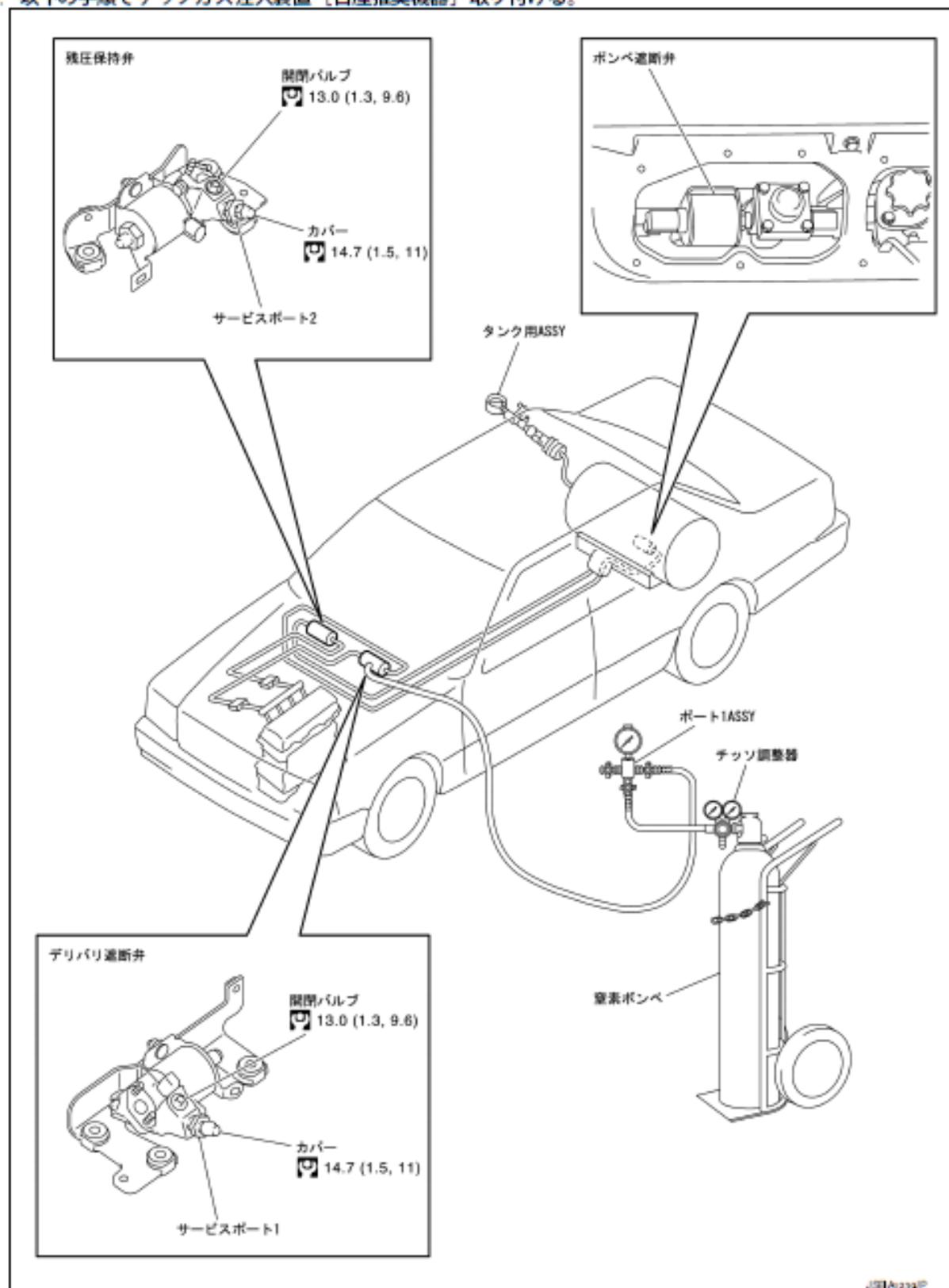
:窒素ガス
 :LPG
 :押し戻したLPG

燃料流出防止作業

- 注意:**
- この作業は窒素ガスを1.0MPa以上で充填作業を行うため高圧ガスの製造事業（第2種）に該当し、都道府県庁への届出が必要となる。
 - 窒素ガスで燃料配管からLPGボンベASSYへ押し戻すとき、窒素ガスがLPGボンベASSYに流入することを防止するため、下記手順を必ず遵守し作業すること。

リターン側燃料押し戻し作業

1. 以下の手順でチツソガス注入装置〔日産推奨機器〕を取り付ける。



- (1) 窒素ボンベにチツソ調整器〔日産推奨機器〕を介してポート1ASSY〔日産推奨機器〕を接続する。

(2) デリバリ遮断弁のサービスポート 1 にポート 1ASSY [日産推奨機器] を接続する。

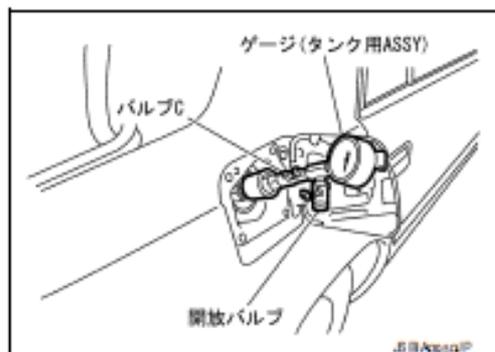
注意: ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブは全て閉状態であること。

(3) LPG ボンベ ASSY の取出しバルブ (メイン)、及び取出しバルブ (リターン) を全閉にする。

(4) 充填バルブを全開にする。

(5) タンク用 ASSY [日産推奨機器] を給油口に接続する。

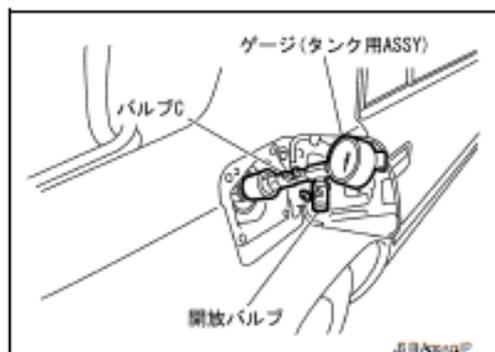
注意: タンク用 ASSY [日産推奨機器] のバルブは全て閉状態であること。



2. タンク用 ASSY [日産推奨機器] のバルブ C を開き、LPG ボンベ ASSY の内部圧力が 0.61MPa 以下であることを確認する。

参考: ・ 燃料のプロパン割合により、LPG ボンベ ASSY の内部圧力は異なるため燃料温度が 40℃ 以下の場合でも、LPG ボンベ ASSY の内部圧力が 0.61MPa を超える場合がある。

・ LPG ボンベ ASSY の内部圧力が高い場合は、窒素ガス押し戻し作業ができない場合がある。



3. 窒素ガスを充填する。

(1) LPG ボンベ ASSY の内部圧力から、窒素ガス充填圧力、及び回数を決める。

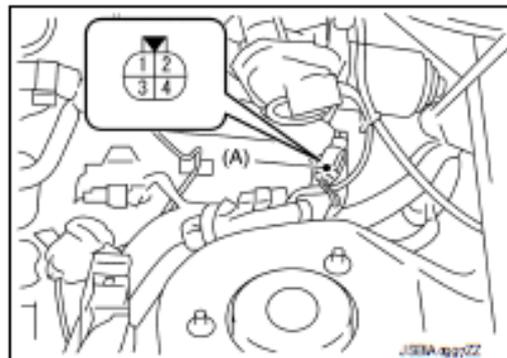
単位: MPa

LPG ボンベ ASSY 内部圧力	窒素ガス充填圧力及び回数	
	1 回目	2 回目
0.00	0.6	—
0.10	0.9	—
0.20	1.2	—
0.30	1.4	—
0.40	1.7	—
0.50	1.9	—
0.60	2.2	—
0.70	2.4	—
0.80	2.6	1.5
0.90	2.6	1.6
1.00	2.6	1.8
1.10	2.6	2.0
1.20	2.6	2.2
1.30	2.6	2.6

(2) デリバリ遮断弁のコネクタを取り外す。

(3) サービスコネクタ (A) の 3、4 番端子を短絡させる。

参考: 解除の指示があるまで、短絡状態を保持する。



(4) チツソ調整器 [日産推奨機器] で、決定した窒素ガス充填圧力に調圧する。

(5) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ A 及びバルブ B を全開にして窒素ガスを配管に封入する。

注意: ・ 石けん水で、デリバリ遮断弁のサービスポート 1 とポート 1ASSY [日産推奨機器] の接続部に漏れがないことを確認する。
・ サービスポート 1 は緩めないこと。緩んだ場合は、デリバリ遮断弁の交換が必要になる。

(6) デリバリ遮断弁の開閉バルブ (二面幅 6mm 六角スクリュ) を 1 回転開く。

(7) 窒素ガス充填圧力が設定圧力まで上昇したら、ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全閉にする。

参考: 窒素ポンペから余分な窒素ガスが流入しないよう必ず全閉にする。

(8) 窒素ポンペにあるチツソ調整器 [日産推奨機器] を全閉にする。

4. 燃料配管内の燃料を LPG ボンベ ASSY に押し戻す。(1 回目)

(1) LPG スイッチを ON にする。(LPG スイッチ付車)

(2) キースイッチを ON にして、スタータを 1 秒間回転する。

参考: ・ エンジンが始動した場合は、エンジンを停止して 3 秒以内にキースイッチを ON にする。(エンジン停止状態)

・ 残圧保持弁が開弁となる。

(3) LPG ボンベ ASSY の取出しバルブ (リターン) を開き、約 5 秒後に全閉にする。

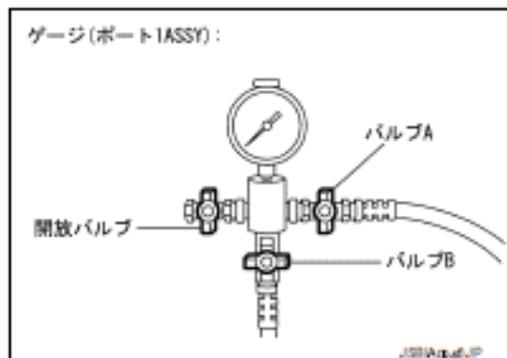
5. 燃料配管内の燃料を LPG ボンベ ASSY に押し戻す。(2 回目)

参考: 燃料押し戻し作業が 1 回の場合は、本作業は不要となり、次の手順を行う。

(1) デリバリ遮断弁の開閉バルブ (二面幅 6mm 六角スクリュ) を全閉にする。



: 13.0N・m (1.3kg-m)



- (2) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ A を閉じて、バルブ B 及び開放バルブを開き、窒素ガスを開放する。

注意: 開放バルブ側に人がいないことを確認し、各バルブをゆっくり開くこと。

- (3) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B 及び開放バルブを閉じて、バルブ A を開く。

- (4) チッソ調整器 [日産推奨機器] で、決定した 2 回目の窒素ガス充填圧力に調圧する。

- (5) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全開にして窒素ガスを配管に封入する。

注意: ・ 石けん水で、デリバリ遮断弁のサービスポート 1 とポート 1ASSY [日産推奨機器] の接続部に漏れがないことを確認する。

・ サービスポート 1 は緩めないこと。緩んだ場合は、デリバリ遮断弁の交換が必要になる。

- (6) デリバリ遮断弁の開閉バルブ（二面幅 6mm 六角スクリュ）を 1 回転開く。

- (7) 窒素ガス充填圧力が設定圧力まで上昇したら、ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全閉にする。

参考: 窒素ポンベから余分な窒素ガスが流入しないよう必ず全閉にする。

- (8) 窒素ポンベにあるチッソ調整器 [日産推奨機器] を全閉にする。

- (9) LPG ポンベ ASSY の取出しバルブ（リターン）を開き、約 5 秒後に全閉にする。

6. 窒素ガスを開放する。

- (1) ポート 1ASSY [日産推奨機器] の開放バルブ及びバルブ B を開き、窒素ガスを大気開放する。

注意: 開放バルブ側に人がいないことを確認し、各バルブをゆっくり開くこと。

- (2) 残圧保持弁のサービスポート 2 のカバーを取り外し、開閉バルブ（二面幅 6mm 六角スクリュ）を 1 回転開き、リターン配管内の窒素ガスを開放する。

注意: サービスポート 2 は緩めないこと。緩んだ場合は、残圧保持弁の交換が必要になる。

- (3) キースイッチを OFF にする。

- (4) サービスコネクタの 3、4 番端子の短絡を解除する。

- (5) デリバリ遮断弁のコネクタを取り付ける。

- (6) デリバリ遮断弁及び残圧保持弁の開閉バルブ（二面幅 6mm 六角スクリュ）を全閉にする。



: 13.0N・m (1.3kg-m)

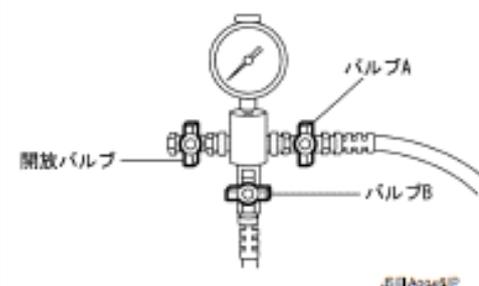
7. 充填バルブを閉める。

8. チッソガス注入装置 [日産推奨機器] を取り外す。

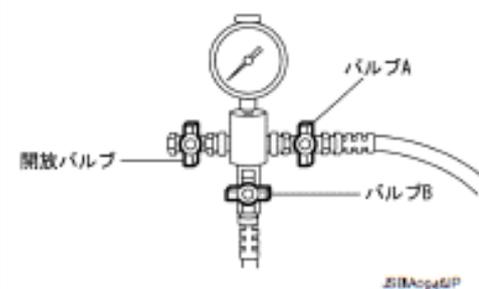
注意: サービスポート 1 及び 2 は緩めないこと。サービスポート 1 が緩んだ場合はデリバリ遮断弁、サービスポート 2 が緩んだ場合は残圧保持弁の交換が必要になる。

9. サービスポート 1 及び 2 にカバーを取り付ける。

ゲージ(ポート1ASSY):



ゲージ(ポート1ASSY):





: 14.7N・m (1.5kg・m)

フィード側燃料押し戻し作業

- 参考:**
- ・ フィード側燃料押し戻し作業は、リターン側燃料押し戻し作業の後に続けて行う必要がある。
 - ・ 本作業手順には、リターン側燃料押し戻し作業を含めて記載している。

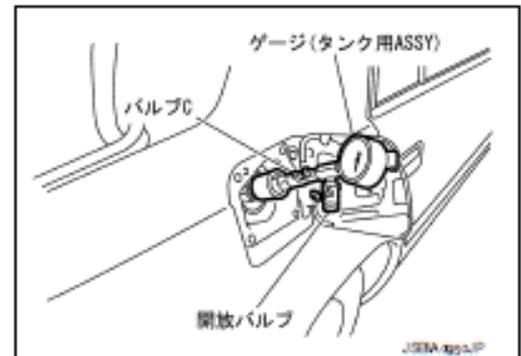
1. チッソガス注入装置 [日産推奨機器] を取り付ける。

- (1) 窒素ポンペにチッソ調整器 [日産推奨機器] を介してポート 1ASSY [日産推奨機器] を接続する。
- (2) デリバリ遮断弁のサービスポート 1 にポート 1ASSY [日産推奨機器] を接続する。

注意: ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブは全て閉状態であること。

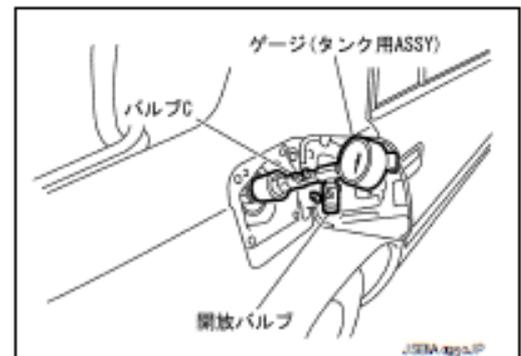
- (3) LPG ボンベ ASSY の取出しバルブ (メイン)、及び取出しバルブ (リターン) を全閉にする。
- (4) 充填バルブを全開にする。
- (5) タンク用 ASSY [日産推奨機器] を給油口に接続する。

注意: タンク用 ASSY [日産推奨機器] のバルブは全て閉状態であること。



2. タンク用 ASSY [日産推奨機器] のバルブ C を開き、LPG ボンベ ASSY の内部圧力が 0.61MPa 以下であることを確認する。

- 参考:**
- ・ 燃料のプロパン割合により、LPG ボンベ ASSY の内部圧力は異なるため燃料温度が 40 °C 以下の場合でも、LPG ボンベ ASSY の内部圧力が 0.61MPa を超える場合がある。
 - ・ LPG ボンベ ASSY の内部圧力が高い場合は、窒素ガス押し戻し作業ができない場合がある。



3. リターン側配管に窒素ガスを充填する。

- (1) LPG ボンベ ASSY の内部圧力から、窒素ガス充填圧力、及び回数を決める。

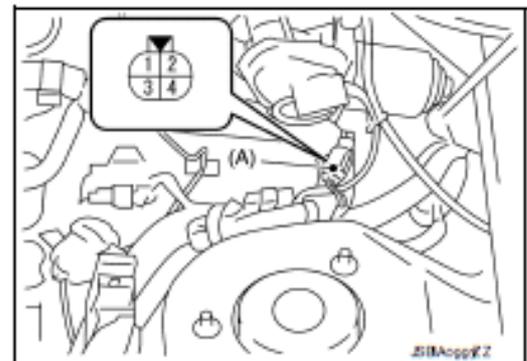
単位: MPa

LPG ボンベ ASSY 内部圧力	窒素ガス充填圧力及び回数	
	1 回目	2 回目
0.00	0.6	—
0.10	0.9	—
0.20	1.2	—
0.30	1.4	—
0.40	1.7	—
0.50	1.9	—

LPG ボンベ ASSY 内部圧力	窒素ガス充填圧力及び回数	
	1 回目	2 回目
0.60	2.2	—
0.70	2.4	—
0.80	2.6	1.5
0.90	2.6	1.6
1.00	2.6	1.8
1.10	2.6	2.0
1.20	2.6	2.2
1.30	2.6	2.6

- (2) デリバリ遮断弁のコネクタを取り外す。
- (3) サービスコネクタ (A) の 3、4 番端子を短絡させる。

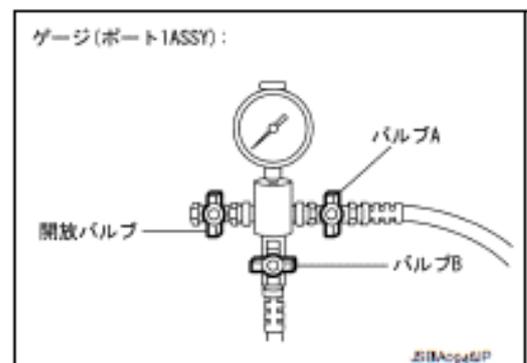
参考: 解除の指示があるまで、短絡状態を保持する。



- (4) チツソ調整器 [日産推奨機器] で、決定した窒素ガス充填圧力に調圧する。
- (5) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ A 及びバルブ B を全開にして窒素ガスを配管に封入する。

- 注意:**
- ・ 石けん水で、デリバリ遮断弁のサービスポート 1 とポート 1ASSY [日産推奨機器] の接続部に漏れがないことを確認する。
 - ・ サービスポート 1 は緩めないこと。緩んだ場合は、デリバリ遮断弁の交換が必要になる。

- (6) デリバリ遮断弁の開閉バルブ (二面幅 6mm 六角スクリュ) を 1 回転開く。



- (7) 窒素ガス充填圧力が設定圧力まで上昇したら、ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全閉にする。

参考: 窒素ボンベから余分な窒素ガスが流入しないよう必ず全閉にする。

- (8) 窒素ボンベにあるチツソ調整器 [日産推奨機器] を全閉にする。

4. リターン側燃料配管内の燃料を LPG ボンベ ASSY に押し戻す。(1 回目)

- (1) LPG スイッチを ON にする。(LPG スイッチ付車)
- (2) キースイッチを ON にして、スタータを 1 秒間回転する。

- 参考:**
- ・ エンジンが始動した場合は、エンジンを停止して 3 秒以内にキースイッチを ON にする。(エンジン停止状態)
 - ・ 残圧保持弁が開弁となる。

- (3) LPG ボンベ ASSY の取出しバルブ (リターン) を開き、約 5 秒後に全閉にする。

5. リターン側燃料配管内の燃料を LPG ボンベ ASSY に押し戻す。(2 回目)

参考: 燃料押し戻し作業が 1 回の場合は、本作業は不要となり、次の手順を行う。

(1) デリバリ遮断弁の開閉バルブ（二面幅 6mm 六角スクリュ）を全閉にする。

 : 13.0N・m (1.3kg・m)

(2) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ A を閉じて、バルブ B 及び開放バルブを開き、窒素ガスを開放する。

注意: 開放バルブ側に人がいないことを確認し、各バルブをゆっくり開くこと。

(3) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B 及び開放バルブを閉じて、バルブ A を開く。

(4) チッソ調整器 [日産推奨機器] で、決定した 2 回目の窒素ガス充填圧力に調圧する。

(5) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全開にして窒素ガスを配管に封入する。

注意: ・ 石けん水で、デリバリ遮断弁のサービスポート 1 とポート 1ASSY [日産推奨機器] の接続部に漏れがないことを確認する。

・ サービスポート 1 は緩めないこと。緩んだ場合は、デリバリ遮断弁の交換が必要になる。

(6) デリバリ遮断弁の開閉バルブ（二面幅 6mm 六角スクリュ）を 1 回転開く。

(7) 窒素ガス充填圧力が設定圧力まで上昇したら、ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全閉にする。

参考: 窒素ボンベから余分な窒素ガスが流入しないよう必ず全閉にする。

(8) 窒素ボンベにあるチッソ調整器 [日産推奨機器] を全閉にする。

(9) LPG ボンベ ASSY の取出しバルブ（リターン）を開き、約 5 秒後に全閉にする。

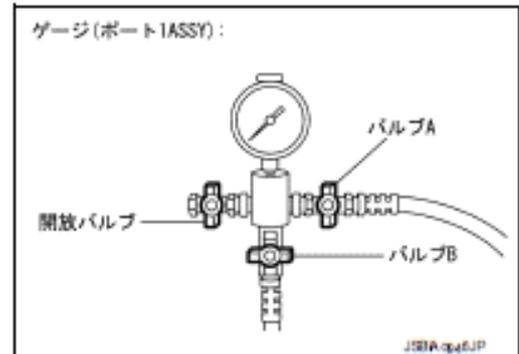
(10) キースイッチを OFF にする。

6. フィード側配管に窒素ガスを充填する。

(1) LPG ボンベ ASSY の内部圧力から、窒素ガス充填圧力、及び回数を決める。

単位：MPa

LPG ボンベ ASSY 内部圧力	窒素ガス充填圧力及び回数	
	1 回目	2 回目
0.00	2.1	—
0.10	2.3	—
0.20	2.4	—
0.30	2.6	—
0.40	2.6	1.7
0.50	2.6	1.9
0.60	2.6	2.2
0.70	2.6	2.5
0.80	2.6	2.6
0.90	2.6	2.6
1.00	2.6	2.6



(2) デリバリ遮断弁の開閉バルブ（二面幅6mm六角スクリュ）を全閉にする。

 : 13.0N・m (1.3kg-m)

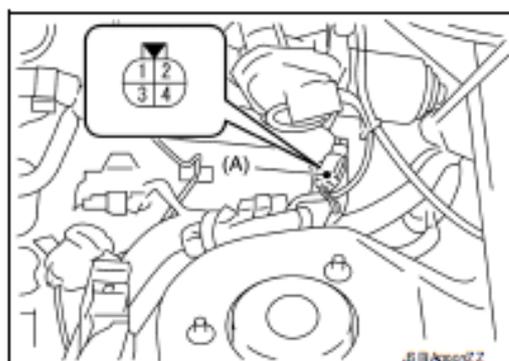
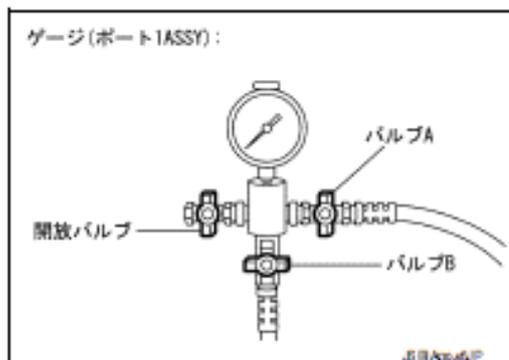
(3) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ A を閉じて、バルブ B 及び開放バルブを開き、窒素ガスを開放する。

注意: 開放バルブ側に人がいないことを確認し、各バルブをゆっくり開くこと。

(4) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B 及び開放バルブを閉じて、バルブ A を開く。

(5) 残圧保持弁のコネクタを取り外す。

(6) サービスコネクタ (A) の 3、4 番端子を短絡させてあることを確認する。



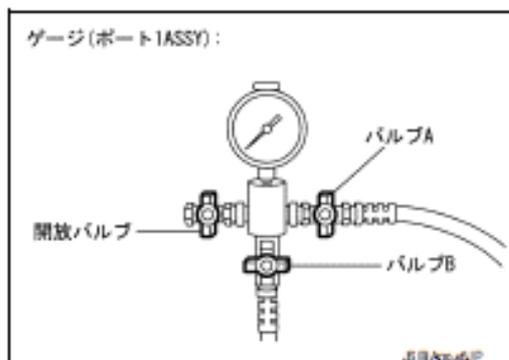
(7) チッソ調整器 [日産推奨機器] で、決定した窒素ガス充填圧力に調圧する。

(8) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全開にして窒素ガスを配管に封入する。

注意:

- ・ 石けん水で、デリバリ遮断弁のサービスポート 1 とポート 1ASSY [日産推奨機器] の接続部に漏れがないことを確認する。
- ・ サービスポート 1 は緩めないこと。緩んだ場合は、デリバリ遮断弁の交換が必要になる。

(9) デリバリ遮断弁の開閉バルブ（二面幅6mm六角スクリュ）を 1 回転開く。



(10) 窒素ガス充填圧力が設定圧力まで上昇したら、ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全閉にする。

参考: 窒素ポンベから余分な窒素ガスが流入しないよう必ず全閉にする。

(11) 窒素ポンベにあるチッソ調整器 [日産推奨機器] を全閉にする。

7. フィード側燃料配管内の燃料を LPG ボンベ ASSY に押し戻す。(1回目)

(1) デリバリ遮断弁のコネクタを取り付ける。

(2) キースイッチを ON にして、スタータを 1 秒間回転する。

参考:

- ・ エンジンが始動した場合は、エンジンを停止して 3 秒以内にキースイッチを ON にする。(エンジン停止状態)
- ・ デリバリ遮断弁が開弁となる。

(3) LPG ボンベ ASSY の取出しバルブ (メイン) を開き、約 5 秒後に全閉にする。

8. フィード側燃料配管内の燃料を LPG ボンベ ASSY に押し戻す。(2 回目)

参考: 燃料押し戻し作業が 1 回の場合は、本作業は不要となり、次の手順を行う。

(1) デリバリ遮断弁の開閉バルブ (二面幅 6mm 六角スクリュ) を全閉にする。

 : 13.0N・m (1.3kg・m)

(2) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ A を閉じて、バルブ B 及び開放バルブを開き、窒素ガスを開放する。

注意: 開放バルブ側に人がいないことを確認し、各バルブをゆっくり開くこと。

(3) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B 及び開放バルブを閉じて、バルブ A を開く。

(4) チッソ調整器 [日産推奨機器] で、決定した 2 回目の窒素ガス充填圧力に調圧する。

(5) ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全開にして窒素ガスを配管に封入する。

注意: ・ 石けん水で、デリバリ遮断弁のサービスポート 1 とポート 1ASSY [日産推奨機器] の接続部に漏れがないことを確認する。
・ サービスポート 1 は緩めないこと。緩んだ場合は、デリバリ遮断弁の交換が必要になる。

(6) 窒素ガス充填圧力が設定圧力まで上昇したら、ポート 1ASSY [日産推奨機器] のバルブ B を全閉にする。

参考: 窒素ボンベから余分な窒素ガスが流入しないよう必ず全閉にする。

(7) 窒素ボンベにあるチッソ調整器 [日産推奨機器] を全閉にする。

(8) デリバリ遮断弁の開閉バルブ (二面幅 6mm 六角スクリュ) を 1 回転開く。

(9) LPG ボンベ ASSY の取出しバルブ (メイン) を開き、約 5 秒後に全閉にする。

(10) キースイッチを OFF にする。

(11) 残圧保持弁のコネクタを取り付ける。

9. 窒素ガスを開放する。

(1) ポート 1ASSY [日産推奨機器] の開放バルブ及びバルブ B を開き、窒素ガスを大気開放する。

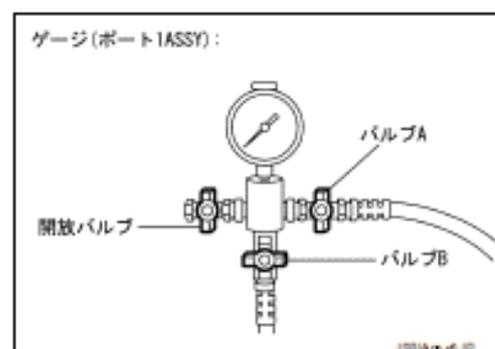
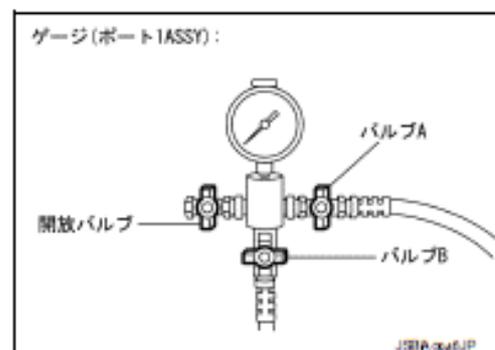
注意: 開放バルブ側に人がいないことを確認し、各バルブをゆっくり開くこと。

(2) デリバリ遮断弁の開閉バルブ (二面幅 6mm 六角スクリュ) が 1 回転開いていることを確認する。

(3) キースイッチを ON にして、スタータを 1 秒間回転する。

参考: ・ エンジンが始動した場合は、エンジンを停止して 3 秒以内にキースイッチを ON にする。(エンジン停止状態)
・ デリバリ遮断弁及び残圧保持弁が開弁となる。

(4) 残圧保持弁のサービスポート 2 のカバーを取り外し、開閉バルブ (二面幅 6mm 六角スクリュ) を 1 回転開き、リターン配管内の窒素ガスを開放する。



注意: サービスポート 2 は緩めないこと。緩んだ場合は、残圧保持弁の交換が必要になる。

(5) デリバリ遮断弁及び残圧保持弁の開閉バルブ（二面幅 6mm 六角スクリュー）を全閉にする。

(6) キースイッチを OFF にする。

10. サービスコネクタの 3、4 番端子の短絡を解除する。

11. 充填バルブを閉める。

12. チッソガス注入装置 [日産推奨機器] を取り外す。

注意: サービスポート 1 及び 2 は緩めないこと。サービスポート 1 が緩んだ場合はデリバリ遮断弁、サービスポート 2 が緩んだ場合は残圧保持弁の交換が必要になる。

13. サービスポート 1 及び 2 にカバーを取り付ける。

 : 14.7N・m (1.5kg-m)

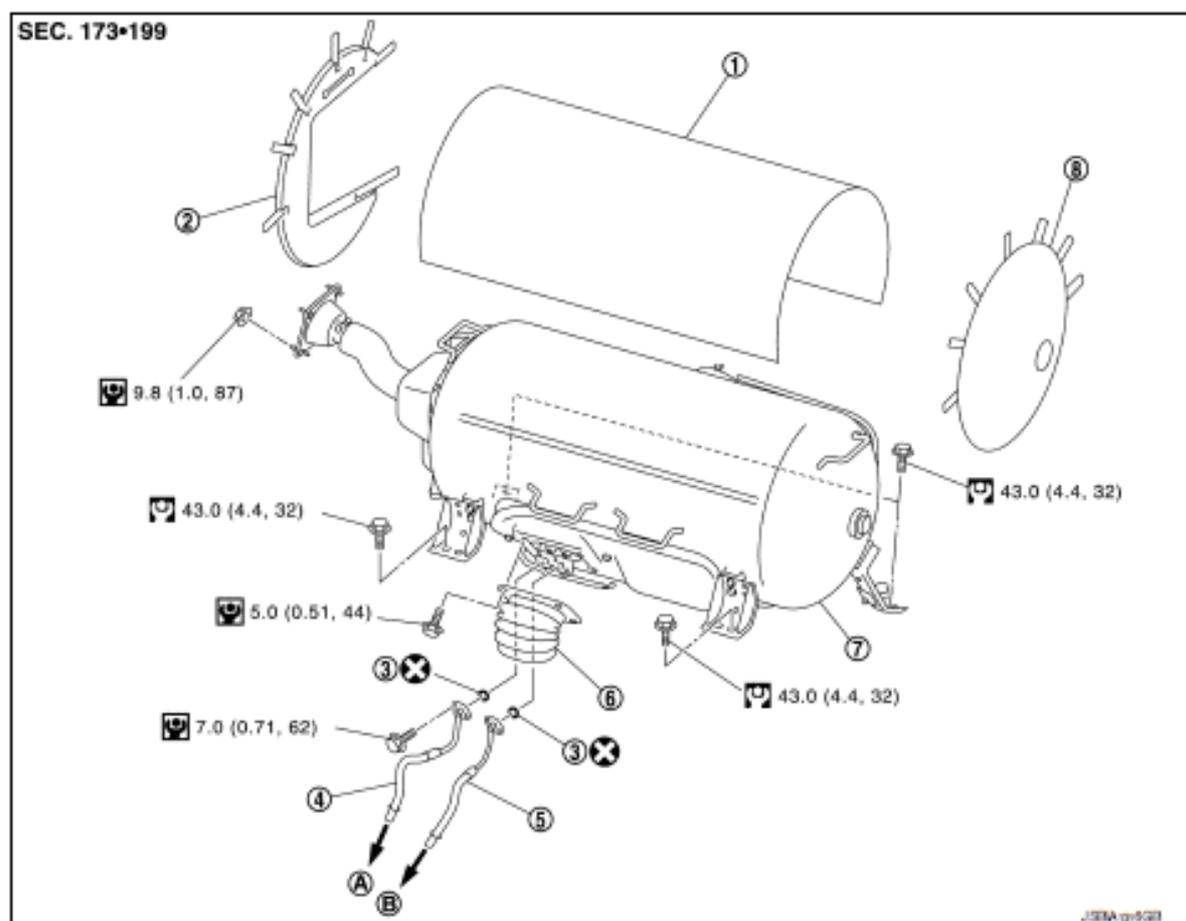
14. バッテリマイナス端子を取り外す。

15. 取り外し作業を行う。

構成図

PNF CD: 000000006417958

取り外し



- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------|
| 1. インシュレータ | 2. インシュレータ (右) | 3. Oリング |
| 4. フューエルリターンホース | 5. フューエルフィードホース | 6. ダクト & リテーナ ASSY |
| 7. LPG ポンプASSY | 8. インシュレータ (左) | |

A. 残圧保持弁へ

B. デリバリ遮断弁へ



: 再使用不可部品



: N・m (kg-m, in-lb)



: N・m (kg-m, ft-lb)

取り外し、取り付け

MFCD.000.0000006417959

取り外し

警告: 燃料系の部品を交換するときは、次に注意して行うこと。

- ・「注意：可燃物有り」の表示をすること。
- ・換気の良い火気のない場所で行うこと。
- ・消火器をそばに置いて作業すること。

注意: ・組付時、ホースやチューブを曲げたりねじったりしないこと。

- ・ホースに傷を付けないようクランプは必要以上に締め付けないこと。
- ・水平な場所で作業を行うこと。

LPG ボンベ ASSY

1. 燃料配管内のガスをボンベに押し戻す。
2. 充填バルブ、取出しバルブ（メイン）、及び取出しバルブ（リターン）が開まっていることを確認する。
3. リヤシートを取り外す。
4. 中央シートベルトのフロアアンカを取り外す。
5. 遮音材をめくり、サービスホールパネルを取り外す。
6. ダクト & リテーナ ASSY をめくる。
7. LPG ボンベ ASSY よりフューエルフィードホース及びフューエルリターンホースを取り外す。
8. 前側ブラケット（左）のハーネスコネクタを取り外す。
9. 前側ブラケットのボルトを取り外す。
10. トランクトリムを取り外す。
11. フィラーネックの車両側取付けナットを取り外す。
12. 車両側ハーネスコネクタを取り外す。
13. ドレーンホースを取り外す。
14. 後側ブラケットのボルトを取り外す。
15. LPG ボンベ ASSY を慎重に取り外す。

注意: ・切り離し忘れた箇所や他部品との干渉がないことを確認しながら取り外すこと。

- ・アダプタがセミコンテナケースより突き出しているため、フロアパネルなどに干渉させないこと。
- ・取り外し後、前側ブラケットの下に木片などを置き、アダプタ及びセミコンテナケースを接地させないこと。

取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行う。

取付後は点検を行う。

取付後の点検

以下の手順で燃料の漏れがないことを確認する。

1. バッテリマイナス端子を取り付ける。
2. 取出しバルブ（リターン）を全開にする。
3. 取出しバルブ（メイン）を全開位置より半回転開く。
4. キースイッチをONにする。
5. エンジンを始動し、取出しバルブ（メイン）を全開にする。

参考： エンジンが始動しない場合は、取出しバルブ（メイン）に内蔵された過流防止弁が作動している可能性がある。取出しバルブ（メイン）を一度全閉にし、再度全開にして始動させる。

6. 配管接続部に石けん水を塗布して、燃料漏れがないことを確認する。
 - ・ 漏れがあった場合は増し締めを行い、再度確認をする。
7. 塗布した石けん水を拭き取る。